

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する 共に未来を創る～

いなほ  
稲穂

学校教育目標

夢をもち、たくましく生きる  
子どもの育成

No.18

令和5年12月1日  
校長 蜂須賀 久幸<https://ichikawa-school.ed.jp/hirata-sho>

## 目的なく単に楽しむ時間が安らぎを生む

職員からは様々な提案や計画が手元に届けられます。ふと疑問に思った時には、「目的は何?」「ゴールでは子供のどのような姿をイメージしているの?」「子供にどんな力をつけたいの?」を問うことが多いように思います。学校教育活動は別にして、普段の生活では目的がないと行動してはいけないかということでもありません。強い目的意識があるわけではないけれど、結果として何かを得られるということだってあるような気がするからです。

体力向上のために、あるいは健康増進のためにランニングやウォーキングをする人は少なくありません。一方、老夫婦で仲よく散歩する姿や一人でゆっくり歩いている姿を見かけることがとても多くあります。確かに健康やリフレッシュのために歩いているのかもしれませんが、気の向くままブラブラとしているだけに見えなくもありません。目的や動機なくただブラブラしながら、自由気ままに時間を楽しむこともあってよいと思います。明確な理由をつけるわけでもなく、ただ歩くことで様々な植物を愛で、他人の家の庭に季節の移ろいを感じ、鳥や虫の声を楽しめるかもしれません。二人なら他愛ないおしゃべりをし、一人なら音楽を聴きながら…ということだってあります。

校内では読書週間が先月下旬に終わりました。「楽しく読んで、自分の世界を広げよう」というテーマ・ねらいはありましたが、読書している最中に「楽しい」という感情や自分の世界の広がりを感じながら読んでいることはほとんどないと思います。そうしたことなど意識せず、話の展開が気になったり絵に見入ったりするのではないのでしょうか。そしてふとした瞬間に「あ～楽しかった」と思い返すのです。子供たちも我々大人も、そうしたゆったりした時間があることで今を精いっぱい生きる活力が湧いてくるのではないかと思うのです。規律はあるけれど、気楽な空気が教室や学校、家庭に満ちていると心が安らぎます。

師走に入りました。何かとせわしない時間が流れていきますが、ちょっとだけ弛緩した時間も大切に!



## プランターや鉢の土、処分に困りますよね

秋になって植物の植え替えを行う人も少なくないはずですが。地植えの庭であればよいのですが、鉢への植え替えとなると古い土の処分をどうしたものか頭を悩ませます。

ごみ収集では対応していませんし、クリーンセンターへの持ち込みも禁止されています。野山に捨ててに行くことも憚られますから、個人的にはホームセンターに設置されたコンテナにまとめて処分して、新しい土袋を買うようにしています。

一鉢栽培などで持ち帰った土の処分に困った場合は、土が入ったままで学校に持ってきてもらえれば対応します。家庭の土はお引き取りできませんのであしからず。



## ■ ■ ■ タッチ ■ ■ ■

あだち充さんの漫画は、文字が比較的少ないのでページをめくる手が自然と速くなります。その代表作ともいえる『タッチ』は、名作ですし、大好きな作品！「♪呼吸を止めて一秒・・・タッチタッチここにタッチ♪」と歌う岩崎良美さんの主題歌もヒットしました。このタイトル「TOUCH」は、バトンタッチのタッチであることが作者が明かしたのをどこかで目にした気がします。

英語でいう「TOUCH」を和訳すると、「接触」「触れる」「触る」「接する」などとなり、少しずつニュアンスが違うことがわかります。では、具体的に「ふれる」と「さわる」はどのように違うのでしょうか。美学を研究する伊藤亜紗さんが、医師を例に挙げて簡単に説明しています。「『医師が患者の腹部にさわる』といった表現では、一方的でどこか相手を物として扱うような接触を指す」と言い、「これに対して、『ふれる』は『傷口にそっとふれる』という場合のように、相手がどう感じるかに配慮しながら接触の仕方を調整する、双方向的な契機がある」と述べています。いずれにせよ、「接触」には信頼によって身を委ねたり許しあったりする関係が必要であるように思えます。だから、意に反する接触は、痴漢やハラズメントとなってしまうわけです。

ときに、非接触型のタッチもあります。例えば、読書を通して「物語にふれる」「登場人物の心情にふれる」「人柄にふれる」という言い方がされ、想像力たくましくしていくわけです。また、「目にふれる」「心にふれる」「琴線にふれる」などというように使われる場合もあります。こうした時も相手や対象の存在をまるごと受け入れ、気持ち等を尊重しながら「ふれあい関係」を築き、「一体感」を味わいたいものです。同時に、アンタッチャブルな部分にも配慮をしながら…。

## お知らせ

### (1) 平田小人権週間

来る12月10日が「世界人権デー」であることから、人権の意義・内容等について理解し、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができる態度・行動が様々な場面で表出できるように、今年度2度目の人権週間を11月27日～12月12日の期間に設定して取り組んでいます。

学級で人権について話し合うなどして、個々に人権標語を作成します。その中から学級代表標語を決めて、昼の放送で紹介したり給食室側階段の手すりの上部に掲示・紹介したりします。

### (2) 第2回学校評価保護者アンケートに関するお願い

第1回のアンケートを6月の終わりにお願いして夏休み前にまとめました。今回は2学期の教育活動全般を振り返って12月7日(木)にメールでお願いする予定です。評価のスパンが短いという声もいただいておりますが、市川市全体での取り組みでもありますので、ご理解・ご協力をお願いします。

なお、評価をしていただくための補助資料として、取り組みをまとめて同日にお配りします。

### (3) ボランティアさんへのお手紙贈呈

後期の始まりから集まってきた、安全見守りボランティアの千葉さんへのお手紙、その数80枚。

6年女兒にお願いして書いてもらった、すてきな表紙(右写真)で綴って、11月末にお渡しすることができました。朝日を浴びて、子供の元気な声に今も励まされていると、喜んでいらっしやいました。体調がよいときはこの先もお会いできます。

